

建築家で家を建てる

ハウスメーカーや工務店と比べると、資本力も組織力もありません。ですが、負けにくいくらいの大きな志で、家づくりに取り組んでいます。それが建築家です。

ハウスメーカー、工務店、建築家、それぞれにメリット・デメリットがあります。

どこに頼めば、お客様の希望が叶えられるのか。一生に一度の家づくりですので、じっくり考えて一歩踏み出してください。

そして、いい家を、幸せな暮らしを送っていただけることを願っています。

ハウスメーカーや工務店に比べて、建築家の情報は少ないですし、展示場を覗くように確かめることが難しい存在です。家づくりの依頼先を検討する上で、少しでも参考になれば幸いです。

1. 志

ハウスメーカーや工務店は、経営理念という志があり、社員一丸となって家づくりに取り組んでいます。建築家も、自分の信念・志を持って活動しています。時にそれは“拘り”と呼ばれます。拘りと言うと、お客様の希望より建築家のやり方が優先されるような印象があり、頑固なイメージがあると思います。ですが、建築家みんなが頑固者という訳ではありません。頑固者かどうか、なかなか表現するのは難しいですが…。

例えば、伊藤建築設計室の志は、「思いを大切にしたい家づくり」です。それは、デザインなど表面的なもので家の評価をするのではなく、家に込められたお客様の思い、家づくりに携わった職人さん達の思いが、家から感じられるような家をつくることです。

思いが感じられる家は、まるで命が宿ったような感じがして、家族の一員として一緒に時間を重ねていきます。家の中にいると、やさしく包まれているような、大きな腕で抱きしめられているような感覚になります。

そんな家が、きっとお客様を幸せにしてくれると思っています。



2. 価格

どんなにいい家でも、予算が足りないと建てることはできません。なんといっても一番大切なのはお金です。

ハウスメーカーや工務店は、低価格でより良い家をご提供する為に、各社いろいろな努力をしています。例えば、仕様を標準化して同じ材料をたくさん仕入れる分、金額を抑えるとか。

建築家は、そういった組織的な活動は難しいので、別の方法で努力します。例えば、設計書を作って数量を拾い出して、金額の透明性を図ることができます。どれだけの材料を使うから、この金額になっているのか、どこを変更すれば、どれだけ金額を抑えられるかをわかりやすくします。その他、組織でなくひとりだということで、経費がかからない(宣伝広告費や展示場などの維持費、社員の人件費が少なくて済みます)その分、家づくりにお金をまわせます。

3. 品質

ハウスメーカーや工務店は、品質を確保する為にマニュアル(施工要領)を整備しています。職人さんの教育をしたり、安全パトロールをしたりして、品質確保に努めています。又、現場を管理する社員(現場監督さん)が専門でいますので、きちんと施工をチェックしてくれます。建築家の場合は、中立的な立場だというメリットがあります。施工をする工事店に属していないので、工事店都合(工期とか利益とか)に影響されず、自分が設計した家を設計通りに施工してくれているかチェックできます。

伊藤建築設計室の場合は、監理チェックリストと工事写真の整備などで、現場監理を行います。

工事写真ファイル		No.	98
	撮影日 11月15日 内容 室内厚付耐力壁施工確認 布まで張り張られていること	写真No.	292
	撮影日 11月15日 内容 室内厚付耐力壁施工確認 釘打ち M60φ150	写真No.	293
	撮影日 11月15日 内容 室内厚付耐力壁施工確認 リヒンク釘を換打	写真No.	294

工事監理チェックリスト					
工種別	チェック項目	チェック方法	基準	確認方法	確認チェック
基礎工事	■ 基礎の位置	設計図面との照合		目視確認	
	■ 基礎の深さ	設計図面との照合		目視確認	
	■ 基礎の幅	設計図面との照合		目視確認	
躯体工事	■ 根切の深さ	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の幅	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の位置	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の深さ	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の幅	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の位置	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の深さ	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の幅	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の位置	設計図面との照合		目視確認	
	■ 根切の深さ	設計図面との照合		目視確認	
内装工事	■ 内装の位置	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の深さ	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の幅	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の位置	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の深さ	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の幅	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の位置	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の深さ	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の幅	設計図面との照合		目視確認	
	■ 内装の位置	設計図面との照合		目視確認	

4. デザイン性

ハウスメーカー、工務店、建築家、それぞれのデザインで家づくりを行っています。洋風、和風、カントリー調、シンプルモダン...etc. その中で建築家は、ハウスメーカーや工務店と比べて自由にデザインをすることができます。それは、2.価格でご説明したハウスメーカーや工務店は標準化による低価格努力により、独自性を出す分お客様のご要望に対応できにくいところがあるのに比べ、建築家は自由に活動できるからです。(建築家も、ハウスメーカーや工務店と同じ市場で活動する為に、独自性を前面に出している方もいますので、建築家にご相談してみてください。)

伊藤建築設計室の場合は、「思いを大切にしたい家づくり」のもとに活動していますので、デザインに拘りはありません。表面的なデザインよりも、感じられる雰囲気・思いが大切だと思うからです。お客様の思い描くデザインの家を、実現していきます。



5. 機能性

住みやすい家は、動線計画、間取り配置、設備の使い勝手など、機能性が重要です。建築家は設計の専門家ですので、お客様の希望を聞き取りながら、丁寧にまとめ上げていきます。お客様に合った、オンリーワンの家づくりを行います。

ハウスメーカーや工務店も、フリープラン・間取り自由をうたっています。ですが、標準化や手間をかけないことで価格を抑えるといった活動をしていますので、建築家に比べるとオンリーワンの家づくりという面では見劣りします。標準仕様以外を選ぶと、オプション設定で金額が割高になるということがあります。

ですが、建築家は個人で情報を調べるのに対し、ハウスメーカーは組織で開発・研究をおこなっていたり、工務店はフランチャイズ加盟して開発された商品を扱ったりしていますので、特化しているものを持っています。たとえば、免震構造のような建物の性能、オール電化+太陽光発電のような設備です。マニュアル化して家の設計に取り入れられるようになっているので、ひとつずつ造り上げていく建築家に比べると、信頼性があると言えます。

間取り配置や動線計画で、機能性を満たしていくなら建築家、設備や仕様で機能性を満たしていくならハウスメーカーや工務店がいいと思います。

6. 信頼性

家づくりを任せても安心かという信頼性においては、やはり組織力があるハウスメーカーや工務店に分があります。(資本力・経営状態(倒産しないか)の信頼性が、ハウスメーカーや工務店と建築家かどうかという比較は、今回は触れません。)

(1) 設計中

建築家は個人ですので、交通事故にあたり病気になって入院したりするかもしれません。長期間仕事ができない状況になると、そこで家づくりはストップしてしまいかねません。ハウスメーカーや工務店の場合は、担当者に何かあっても、別の担当者に引き継ぎできますので安心です。

(2) 工事中

建築家の場合、実際に家を建てるのは工事請負契約を結んだ工事店ですので、家はきちんと完成します。工事中に第三者的立場で確認するのが建築家の役目ですので、もし建築家に何かがあった時は、確認の精度は落ちるかもしれません。第三者の監理がなくなり、

ハウスメーカーや工務店に頼んだ場合と同じ状況になります。

(3) お引き渡し後

ハウスメーカーや工務店は、お引き渡し後のアフターメンテナンスは専門の担当員がいます。担当員がいない場合でも、工事監督さんが行います。何か修繕が必要になった場合でも、協力業者に依頼し、スムーズに対応されます。

建築家は、工事中からお客様と工事店との間に立つ立場になっています。お引き渡し後は、ハウスメーカーや工務店と同じように、工事店が行います。何か修繕が必要になった場合は、建築家に連絡してもいいですし、工事店に連絡してもいいです。建築家に連絡しても、直接自分では手配できないので、工事店に連絡することになります。では、建築家はあまり必要ないのではと考えるかもしれませんが、建築家は設計からずっと一人のお客様との関係をつくってきています。お客様のことも、家のことも、知っています。そのことが、きめ細かな対応やアドバイスに繋がります。家に住んでいて何かあっても、お客様と一緒に考えたり工事店に相談したり、パートナーとして存在します。

以上、継続性という面では信頼性に不安があるのが建築家です。しかし、一人でなく相談できる相手がいる、一緒に対処できるのが建築家です。

7. 家づくりの労力

ハウスメーカーや工務店は、標準仕様・標準プランを用意していて、カタログや展示場で選びながら家を決めていくことができます。エスカレーターに乗っているように、どんどん順序よく家づくりを進めていくことができます。

建築家は、お客様と打合せを重ねながら、お客様の頭の中のイメージを設計図に表現していきます。話し込んで、お客様の人柄を感じ取りながら家をつくっていきます。設備や仕様も、自由に選ぶことができる分、膨大な情報量の中から選んでいくことになります。そして、決めないといけない仕様も、とてもたくさんあります。時のほ回り道したり、引き返したりしながら、ゆっくりと歩いていくことになります。

そういった意味で、時間も労力も建築家の方がたくさん必要になります。

その労力を苦労と考えるか、一生に一度の家づくりだから、いろんなものを知って・感じて・考えてつくっていく楽しみと考えるか、お客様次第です。

伊藤建築設計室は、100%満足できる家は、なかなか建てられないと思っています。100%満足できるかどうかよりも、100%家づくりを努力できたか、その方が大切だと思っています。家族みんなで悩んで考えて、そのときできることをやりきってきた家なら、きっとよかったと思えるはずですから。